

社協

おうたき

第

61

号

平成28年7月15日発行

社会福祉法人
王滝村社会福祉協議会

〒397-0201

長野県木曾郡王滝村2830-1

TEL 0264(48)2008

FAX 0264(48)3033

生涯現役



平成27年度事業報告・・・2～4p

平成27年度収支決算・・・5～6p

役員改選等のお知らせ・・・7p

地域支え合い研修会を開催・・・8p

役割と生きがいをもって
いきいきサロンで絵手紙教室を
開催。手塩にかけて育てた野菜
の収穫、うれしいですね！
高齢になっても生きがいをもっ
て、生涯現役で活躍できる地域
づくりに取り組んで参ります。

平成27年度おもな事業の報告



おじいちゃん元気ですか!?
小中学生が夏休みにボランティア
体験。配食のお弁当をお届け。



◇地域福祉活動

ボランティア・福祉啓発

1. ボランティアの育成・支援
登録ボランティア 14メニュー 92名
ボランティア講座 5回実施 参加者61名
その他、ボランティア新年交流会や、お楽しみ弁当
つくり隊勉強会などを実施。
2. 第26回福祉・健康の集い（社会福祉大会）
『伝える「思い」、つながる「心」、育もう
地域のきずな!』 9月6日 参加者250名
3. 福祉教育
小中学生夏休みボランティア体験
体験 5メニュー 参加者76名
福祉講座&体験教室 1回実施 参加者31名
その他、デイサービスなどの諸事業での子どもたち
とお年寄りの交流会などを実施。



育てよう! 支えよう! 地域で子育て
ボランティア講座では、地域の中での子育て
支援の担い手を養成しようと、4回に渡り
講習会を開催し16名の方が熱心に受講。

支え合い活動の促進

地区サロンと情報交換会

- 7月 3日 野口地区サロン 参加者17名
健康教室、サービス紹介他（福祉健康課共催）
- 11月11日 東地区サロン 参加者12名
出張介護教室、サービス紹介他

◇地域福祉サービス



	実施回数	利用者	延利用回数(前年度比)
1 どんぐり広場	12回	6組7名	61回 (△30回)
2 ミニ児童館	243日	30名	340回 (△51回)
3 ふれあい元気づくり教室	12回	28名	212回 (+3名)
4 お楽しみ弁当	14回	46名	591回 (+51回)
5 ごたくらび	12回	13名	84回 (+2名)
6 会食会	1回	72名	- (+2名)
7 障がい者希望の旅	1回	8名	- (△1名)
8 障がい者交流会	2回	11名	- (+3名)
9 金銭管理・財産保全サービス	- 日	- 名	- 回 (△35回)

☆地域福祉のあり方 について懇談会を開催

村内の人口減少や高齢化、国の
社会保障制度の見直しなど福祉を
取り巻く環境が大きく変化する
中、今後の村の福祉のあり方につ
いて行政関係者を交えた懇談会を
開催。地域の現状と課題をとも
に共有し、6項目に渡る提言とし
て取りまとめました。

☆地域でともに支え合う 新たな体制づくり事業

国の制度改正に伴い、平成28年
度から高齢者の生活支援や認知症
支援について地域全体で支える新
たな体制づくり事業がスタート。
地域にとって必要なサービスを
地域の特性に応じてつくり上げ
て行くことが求められており、
今まで以上に地域の皆さんがとも
に参加し、考え、支え合う地域
づくりが必要となっています。



◇生活資金貸付事業

貸付件数/残高 1件 (140,000円)

☆新規貸付 1件 ☆償還終了 - 件



◇介護予防・生活支援事業

☆生活支援訪問サービス が新たにスタート

独居世帯等の増加に伴い生活支援のためのサービスのニーズが増加する中、介護予防や生活支援のサービスが一体的に提供される生活支援訪問サービスを新たに開始。サービス内容の充実を図り、従来サービスの3倍以上のご利用をいただきました。

☆身近な相談支援の 体制づくり

村内で高齢者のみの世帯が増加するなか、生活支援訪問サービスでは安否確認等を兼ねた相談支援サービスを無料化。また、ひとり暮らしよらまい会の実施回数を増やすなど、日常生活における相談支援機能の充実を図りました。

	実施回数 (日数)	利用者	延利用回数(前年度比)
1 いきいきサロン	12回	12名	108回 (+18回)
2 配食サービス	486回	25名	4,083回 (+123回)
3(新)生活支援訪問サービス	160日	28名	289回 (+194回)
① 介護予防ホームヘルプ		2名	85回 (+32回)
② 生活支援ホームヘルプ		26名	204回 (+162回)
4 介護教室	5回	64名	76回 (+4回)
5 介護者リフレッシュ	4回	20名	38回 (+3回)
6 外出支援サービス	223日	44名	1,138回 (+159回)
7 ひとり暮らしよらまい会	4回	29名	77回 (+43回)
8 心配ごと相談所	15回	-	9回 (△3回)



◇生活支援ハウス運営事業

入居者4世帯5名(366日 24時間営業)
☆新規入居 - 世帯(-名) ☆退所 - 世帯(-名)



園児に笹巻のプレゼント
いきいきサロン恒例の七夕交流会では、ばあちゃんたちがはたき餅の笹巻を園児にプレゼント。



ふるさとの歴史や自然を再発見

7月のよらまい会では里宮方面へ外出。御嶽の信仰や貴重な花々のすばらしさを再認識。

笹けずりで子どもたちと交流
ごたくらぶと小学3、4年生との交流会では、じいちゃんたちがひのきの笹けずりの『技』を子どもたちに伝授。



「回想法」って何だや?

王寿会と共催の介護教室は回想法をテーマに開催。養蚕の話題など若かりし頃の思い出話に花が咲き、皆さんイキイキ!

～平成27年度監査意見よい①～

◇サービス内容の充実と今後の事業展開

平成27年度事業においては特に生活支援サービス等の充実がうかがわれ、行政では担えない役割を社協の福祉サービスが果たしているものと評価される。今後とも事業計画に定める事業目標に従い更なる内容面の充実を図り、地域のニーズに合わせた事業展開と地域における支え合い体制づくりの推進に取り組まされたい。

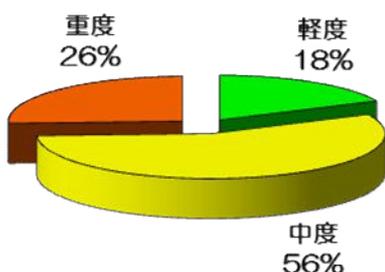
☆介護報酬が改定

平成27年4月の介護保険制度の改正により介護報酬が減額改定され、特に小規模型のデイサービスでは従来より△10%程度も減額されました。サービス運営への影響が懸念されましたが、通所介護では前年度比105%、訪問介護ではサービス時間が前年度比108%と利用状況が改善し、報酬改定の影響を最小限にとどめることが出来ました。



◇介護保険(障害福祉)サービス

	営業日	利用者	延利用回数
1 居宅介護支援事業	243日	33名 ◎新規 8名	307回
2 通所介護(デイサービス)	258日	23名 ◎新規 5名	2,823回
3 訪問介護(ホームヘルプ)	309日	18名 ◎新規 4名	2,026回
4 障がい者ホームヘルプ	309日	1名 ◎新規 1名	495回
移動支援サービス		1名	52回



<デイサービス>

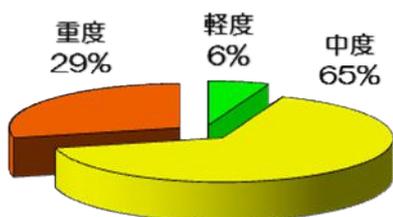
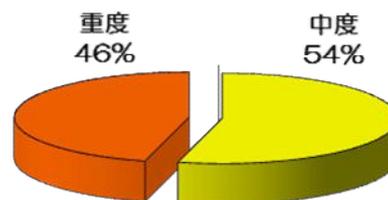
介護状態別利用状況(延人数) ◎1日平均利用者 10.9人

	27年度	26年度	増減
軽度	0人	61人	△61人
中度	1,526人	1,261人	+265人
重度	1,297人	1,354人	△57人
合計	2,823人	2,676人	+147人

<居宅介護支援事業>

介護状態別ケアプラン作成状況(延件数)

	27年度	26年度	増減
軽度	55件	74件	△19件
中度	173件	139件	+34件
重度	79件	105件	△26件
合計	307件	318件	△11件



<障がい者ホームヘルプ> ※移動支援含む

	<27年度>	<26年度>	<増減>
◎延訪問回数	547回	491回	+56回
◎延訪問時間	537.5H	534.5H	+3.0H

<ホームヘルプサービス>

介護状態別利用状況(延回数)

	27年度	26年度	増減
軽度	117回	310回	△193回
中度	1,328回	909回	+419回
重度	581回	930回	△349回
合計	2,026回	2,149回	△123回

◎延訪問時間 2,210H(前年度比+158H)

身体介護683H/生活援助1,424H/介護予防103H

※1回当たり訪問時間(平均) 65分(前年度比114%)

☆介護保険制度の見直しと、今後のサービス展開の課題

現在、国の社会保障制度は大きな転換点にあり、平成29年4月からは、予防が必要な要支援認定者への介護サービスは介護保険給付の対象から外れ、町村(保険者)事業へと移行されます。

今後、さらに軽度の方のサービス利用が制限される動向の中、小規模な町村においては介護保険収入の減収と有資格者等の人材確保の問題が相まって、介護サービスの継続が困難になることも予想されます。

今後の村内における在宅介護サービスの確保やそのあり方について、私たち自らの問題として、地域全体でともに考えて行くことが強く求められています。

今年度より、季節のイベントや利用者の皆さんの素敵な笑顔をお便りにしてご家庭にお届けします。

デイサービス便りを発行!



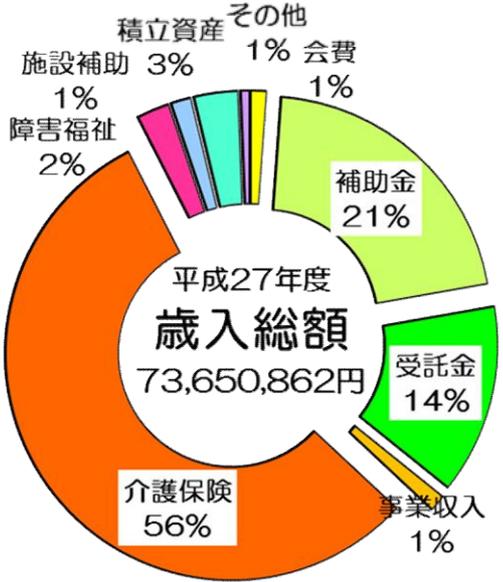
平成27年度一般会計決算

“歳出抑制により積立金取崩額を削減”

歳入合計 73,650,862円
 歳出合計 73,590,862円
 差引残高 60,000円

歳入

(単位：円)

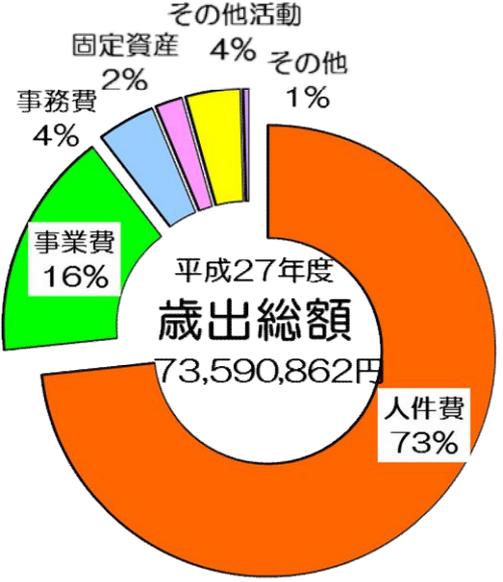


	決算額	前年度決算額	増減
1 会費	844,000	822,000	22,000
2 寄附金	117,850	168,142	△50,292
3 補助金	15,522,996	15,642,996	△120,000
4 受託金	9,979,392	8,632,899	1,346,493
5 貸付事業収入	60,000	100,000	△40,000
6 事業収入	873,250	836,200	37,050
7 介護保険事業収入	40,887,369	41,269,763	△382,394
8 障害サービス収入	1,720,960	1,601,440	119,520
9 施設整備等補助金	1,060,000	0	1,060,000
10 基金・積立金取崩	2,315,586	7,319,544	△5,003,958
11 前期繰越金	200,000	200,000	0
12 その他	69,459	142,053	△72,594
合計	73,650,862	76,735,037	△3,084,175

※「補助金」は共同募金配分金収入(577,996円)を含む。「事業収入」は介護保険事業、受託事業以外の利用料等の収入。
 ※退職給付引当資産返還金等の預け金返還金収入を除く。

歳出

(単位：円)



	決算額	前年度決算額	増減
1 人件費	53,948,134	56,604,680	△2,656,546
2 事業費	12,011,229	12,312,919	△301,690
3 事務費	3,043,964	3,295,511	△251,547
4 固定資産取得支出	1,422,000	1,355,000	67,000
5 その他の活動支出	2,848,446	2,762,092	86,354
6 その他	317,089	104,835	212,254
合計	73,590,862	76,435,037	△2,844,175

※「その他の活動支出」は退職給付引当資産等の支出。
 ※退職給付引当資産返還金等の預け金返還金収入に対応する、退職給付支出及び雑支出を除く。

～平成27年度監査意見より②～

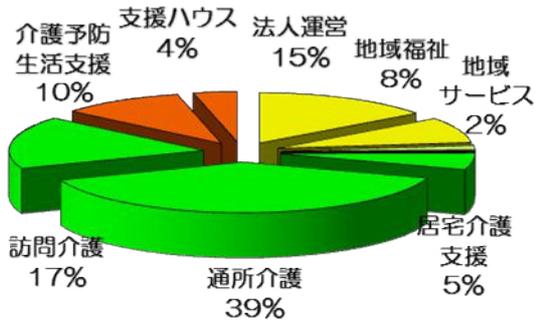
◇事業充実と財政運営の課題
 人口減少等により今後ますます事業経営の環境が厳しくなることが予想されるが、将来を見据えた積立金等の資産管理の検討も含め、適切なサービス提供体制の確保のための取り組みに努められたい。

平成27年度の収支決算は、前年度比△4%の減額決算となりました。収入面では、介護報酬の減額改定の影響が懸念されましたが、利用状況の回復により前年度並みの事業収入に落ち着きました。

前年度決算では介護保険収入の大幅な落ち込みにより非常に厳しい財政状況となりましたが、人件費が前年度比△二六六万円(△5%)と減額するなど、歳出の抑制により運営補填のための積立金取崩額は前年度比△四二二万円(△62%)と減額しました。

事業運営面では、介護保険事業が5年前より△一千万円以上(△20%)事業収入が減額する一方で、生活支援サービス等の需要は増加しており、事業財源の確保をはじめ、将来に向けた持続的かつ安定的なサービス提供体制の構築が課題となっています。





= 各サービス区分のおもな事業 =

◇地域福祉推進事業 * 計6事業

①地域福祉推進事業 ②ボランティアの育成・支援
③福祉教育の推進 ④調査広報事業◎ ⑤社会福祉大会◎ ⑥福祉活動の促進・支援等◎

◇地域福祉サービス * 計7事業

①どんぐり広場/ミニ児童館◎ ②会食会他◎ ③ふれあい元気づくり教室 ④お楽しみ弁当 ⑤ごたくらぶ◎ ⑥障がい者希望の旅 ⑦障がい者の交流促進等
☆ 上記事業の内、利用者の皆さまの利用料等 計395,400円 (対事業費 54%)

◇介護予防・生活支援事業 計7事業

①いきいきサロン ②配食サービス ③生活支援訪問サービス ④介護教室 ⑤介護者リフレッシュ事業
⑥外出支援サービス ⑦心配ごと相談所
☆ 上記事業の内、利用者の皆さまの利用料等 計1,930,850円 (対事業費 68%)

※「*」の事業の内、計10事業に会員の皆さまの年会費を充当しています。「◎」の事業は、共同募金配分金事業です。(計6事業)

事業別歳出決算額の内訳

(単位：円)

拠点/サービス区分	決算額	前年度決算額	増減
1 法人・地域福祉活動	18,298,034	17,964,349	333,685
1 法人運営事業	10,977,190	11,110,410	△133,220
2 地域福祉推進事業	6,034,701	5,679,096	355,605
3 地域福祉サービス	1,044,814	1,125,158	△80,344
4 生活資金貸付事業	241,329	49,685	191,644
2 介護保険サービス	45,046,726	49,569,789	△4,523,063
1 居宅介護支援事業	3,889,635	4,140,530	△250,895
2 通所介護事業	28,727,847	33,875,048	△5,147,201
3 訪問介護事業	12,429,244	11,554,211	875,033
3 介護予防・日常生活支援事業 (受託事業)	10,246,192	8,900,899	1,345,293
1 介護予防・生活支援事業	7,569,208	6,237,783	1,331,425
2 生活支援ハウス運営事業	2,676,984	2,663,116	13,868
合計	73,590,952	76,435,037	△2,844,085

※ 法人運営事業は基金組入額 (49,850円) を含む。

介護保険事業の収支

(単位：円)



	居宅介護支援	通所介護	訪問介護	合計
歳出決算額 a	3,889,635	28,727,847	11,908,244	44,525,726
介護保険収入他 b	3,580,280	29,896,350	10,272,319	43,748,949
過不足額 b-a	△309,355	1,168,503	△1,635,925	△776,777
(他事業繰出/繰入金)	△309,355	1,168,503	△859,148	0
(積立金取崩充当額)	0	0	△776,777	△776,777
(次年度繰越金)	0	0	0	0

※ 訪問介護事業は、固定資産積立金取崩額及び対応する固定資産取得支出 (521,000円) を除く。

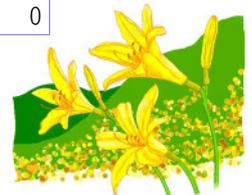
※ 「介護保険収入他」の内、利用者の皆さまの利用料 計6,128,965円 (対事業費 117%)

H27 基金・積立金の状況

H28.3.31 現在

(単位：円)

地域福祉基金 ※ 地方交付税財源	積立額	0	
	取崩額	0	
	残高	69,953,074	◎ 果実運用 (社会福祉事業へ)
福祉基金 ※ 寄附金等財源	積立額	49,850	一般寄附金の積立て
	取崩額	0	
	残高	10,758,357	◎ 果実等運用 (地域独自の福祉サービスへ)
法人安定化積立金	積立額	0	
	取崩額	1,794,586	運営補填取崩額 (4事業)
	残高	21,981,258	◎ 基盤整備、介護保険経営補填準備金
固定資産積立金	積立額	0	
	取崩額	521,000	訪問送迎用車輛更新費用 (1台)
	残高	12,659,654	◎ 消耗資産の更新準備金 (8件)
暮らし資金積立金	積立額	239	積立預金利息
	取崩額	0	
	残高	1,500,239	◎ 生活資金貸付事業原資



※ 事業財源の不足による運営補填のために、平成27年度は、法人安定化積立金より法人運営事業へ926,459円、地域福祉推進事業へ91,350円 (2事業)、介護保険サービスへ776,777円 (1事業) を取崩し充当しました。

※ 法人安定化積立金は、基幹的な人員体制整備のための人件費財源の確保、及び介護保険事業が赤字決算の場合の財源補填等を目的に積み立てています。

※ 固定資産積立金は、サービス運営に不可欠な車輛等の固定資産に関し、償却年数の古い資産から優先的に積立てています。

役員改選が行われました

任期満了に伴い、5月30日の評議員会において理事及び監事が、理事会において顧問、評議員がそれぞれ選任され、理事の互選により会長、副会長が再任されました。

理事 (任期 平成28年6月11日～平成29年6月 ※)

- 会長 畑中 実祐 ～地域福祉関係 (民児協会長)
- 副会長 堀内 征二 ～地域代表 (公民館長等経験)
- 副会長 滝 和人 ～学識経験者 (保護司)
- 栗空はつ系 ～福祉、介護分野
- 下原 敏秋 ～組織運営、経営分野
- 南 直 ～行政関係 (村教育長)
- 下出 謙介 ～行政関係 (村議会議長)

◎理事は構成分野を考慮の上、個人として選任されています。

- 監事**
- 藤沢 滋 ～学識経験者
 - 林 冬樹 ～会計経験者

- 顧問** 瀬戸 普 ～王滝村長

役員等の任期は2年間となっていますが、平成28年4月の社会福祉法改正により理事・評議員会機能が見直され、来年度役員等の改選が行われる予定です。

評議員

◎評議員は選任規程に基づき、各種団体と個人の皆さまより選任されています。

(任期 平成28年6月1日～平成29年3月31日 ※)

- 脇坂智恵子 民生児童委員
- 大家 幸雄 老人クラブ
- 細尾美智代 更生保護女性会
- 小谷 栄子 遺族会
- 上野 長敏 行政 (福祉健康課)
- 小谷 洋子 保護司
- 吉田 亮 診療所 (医師)
- 相渡 弘 小中学校
- 家高 敏彰 教育委員会
- 栗空眞智子 食生活改善推進協議会
- 吉田智恵子 (新任) 商工会
- 田中 秀夫 村議会
- 原 操 行政相談委員
- 西路 博 障がい福祉
- 長谷川 昭 ボランティア活動

王滝村長より、新たに運営委員及び推進委員が委嘱され、高齢者を地域で支え合う新たな体制整備事業がスタートしました。

生活支援ネットワーク事業がスタート

生活支援ネットワーク会議

運営委員 12名

(任期 平成28年7月1日～平成31年3月31日)

◇関係機関の協力体制づくりを推進します。

- 畑中 実祐 ～地域代表&福祉関係 (民児協会長)
- 大家 幸雄 ～福祉団体 (王寿会会長)
- 細尾美智代 ～関係機関 (食改会長)
- 長谷川 昭 // (シルバー人材センター)
- 林 冬樹 ～商工関係 (商工会王滝支部長)
- 村上 隆 // (JA王滝支所長)
- 栗空はつ系 ～推進委員 (ボランティアグループ)
- 松原あや子 // (健康推進委員)

- 栗原真寿美 ～生活支援コーディネーター (社協専門員)
- 中嶋 素道 ～社協&事業者 (社協事務局長)
- 上野 長敏 ～行政関係 (福祉健康課長)
- 大家 親 ~ // (村おこし推進課長)

オブザーバー

- 吉田 亮 ～診療所 (医師)
- 澤田 義幸 ～公民館 (公民館長)
- 浅野 元紀 ～駐在所 (巡査部長)

地域支え合い推進会議

地域支え合い推進委員 23名

◇地域で必要なサービスをともに考え、支え合い活動の推進や高齢者の居場所づくりや活躍の場づくりに取り組みます。

- 藤沢 滋 ～福祉関係 (民生児童委員)
- 三浦恵美子 // (福祉推進委員)
- 松原あや子 // (健康推進委員)
- 石川智恵美 // (//)
- 佐口 幸子 ～福祉団体 (王寿会)
- 細尾美智代 ～関係機関 (食改)
- 長谷川 昭 // (シルバー人材センター)
- 栗空はつ系 ～支援活動 (サロン活動)
- 植木 久子 // (社協登録ボラ)
- 河口 富子 // (//)
- 松下由喜江 ～民間活動 (JA女性部)
- 吉田 広史 ～民間業者 (商工会)

- 下出さち子 // (飲食)
- 島尻由佳里 // (宿泊)
- 大家八代美 ～個人&団体
- 酒井 誠 // (地域おこし協力隊)
- 宮本美弥子 ～専門職員 (ボランティアコーディネーター)
- 田近 哲也 // (介護支援専門員)
- 北村加保里 // (訪問介護事業所)
- 美濃羽冴子 // (保健師)
- 丸山 文広 ～行政関係 (村おこし推進課)
- 木下 大輔 // (公民館)
- 堤 純一 // (経済産業課)

デイサービスセンター運営委員を委嘱

平成28年4月より通所介護事業が地域密着型サービスへ移行しました。地域に関わった事業運営を行なうために、定期的に運営推進会議を開催し運営状況やサービス内容、地域との交流等についてご意見をいただきます。

- 栗空眞智子 ～利用者&家族代表
- 藤沢 滋 ～地域住民代表 (民生児童委員)
- 栗空はつ系 ～福祉有識者 (介護専門職経験)
- 上野 長敏 ～行政&包括支援センター (福祉健康課長)
- 垣外 文康 ～保険者 (木曾広域連合)
- 中嶋 素道 ～社協 (事務局長)

(任期 平成28年4月1日～平成31年3月31日)

※但し、利用者家族代表は1年ごとに委嘱

第1回地域支え合い研修会

～みんなで考えよう、住みよい地域

あなたも参加、支え合いの輪～

「高齢者は地域の活力!!」

高齢者を地域全体で支える新たな体制づくり事業がスタートし、7月4日、



地域で必要とされるサービスを地域の皆さんでいっしょに考える、生活支援ネットワーク事業が今年度からスタート。行政や社協だけでなく、地域の皆さん、各種団体、民間業者の皆さん、また、高齢者の皆さん自身も、各々の立場で担い手として参加。地域での支え合い活動の推進と、高齢者の皆さんの居場所づくりや生きがいづくりの促進など、高齢者の皆さんが活躍できる地域づくりに取り組みます。

○「お任せ主義」から脱却を！
これまでの国の社会保障制度は限界にあり、医療や介護の給付が制限され大きな見直しが行われています。国が何かをしてくれる時代はおしまいです。これからは、地域のこととは地域で考えることが求められており、取り組みによって地域間の格差が益々開いてきます。地域にある「資源」を使って、地域の人たちがともに知恵を絞ることが大切です。

○考えて見よう、自分のこと
まずは「人さまのため」にはではなく、自分自身のこと、自分の行く末のことを考えて見ましょう。ひとり暮らしになったら…車に乗れなくなったら…、寝たきりになったら…認知症になったら、あなたはどのようにしてほしいですか？近所で身近な見守りや声かけは

地域ケア総合研究所の竹重俊文先生を講師にお招きし研修会が開催されました。



地域ケア総合研究所
竹重 俊文 先生

○「賛同者」で始めよう！
自分たちにもできる「助け合い」を探してみよう。困ったときに支えあえる仲間づくりを始めてみよう。周囲とのバランスや標準化は気にしなくても大丈夫です。賛同者を集めて、「できること」から始めてみましょう。

○「居場所」と「出番」
「健康」で長生きするためには、「居場所」と「出番」が必要です。認知症になっても役割をもっていれば、生き生きと暮らせます。「笑止・高齢化」。笑顔が止まると、「若い」は進行します。

ありますか？困ったときに頼れる仲間はいますか？あなたの地域は、住みやすい地域ですか？

平成27年度寄付者ご芳名 (受付順)

大切に使用させていただきます!

寄付総額 117,850円



一般寄付金

- 個人 瀬戸 いせ子 様
(第26回福祉・健康の集い
／チャリティーマーケット)
- 団体 王滝観光総合事務所 様
郷土料理 ひだみ 様
一般社団法人 ムラビトミライ 様
五郎八茶屋 様
- 個人 脇坂 智恵子 様
チャリティバザー (売上げ 12,050円)

物品寄贈

- 一般財団法人 信越郵便局長協会 様
全自動洗濯機 1台

※ この他にも、野菜や漬け物、綿布などの介護用品、手づくりのひのき箸や配食サービスの弁当袋、はぎれなどの手芸材料など、たくさんの心のこもった頂きものがありました。(計137件)